

■ 播種機装着時



※装着できる播種機はアグリテクノサーチ製HUD-2に限ります。

HDR200

37PS～60PS

■ 播種機装着用ツールバー

標準装備しています。

※HUD-2のみ装着可能(アグリテクノサーチ製)

■ 耕深調整ゲージ輪

重心位置に配慮して、後部に設置し、走行安定性を確保。ノーバンクタイヤ採用。

■ ディスク式

ディスク式は、摩耗しても畝立て性能が低下しにくく、耐久性に優れている為、消耗部品のコストを低く抑えられます

型 式	機体寸法(mm)			機体質量(kg)	適応トラクタkw(ps)	装置装置の種類	標準耕幅(cm)	作業速度(km/h)	標準耕深(cm)	適応畦幅(cm)	ディスク			作業能率(分/10a)	耕深調節機構	駆動方式
	全長	全幅	全高								枚数	形状	外径(cm)			
HDR200	1310	1895 (2350)	1100	304 (275)	27.2～44.1 (37～60)	JIS標準 3P 1形 直装	25～44	5～6	3～5	60～85 (5cm毎6段階)	8枚	前:平形(15°～25°) 後:花形(5°～35°)	35	10～14	後 ゲ ー ジ 輪	トラクタ けん引方式

※主要諸元及び写真は改良のため予告なく変更する事があります。機体質量の()内質量はスタンドを除いた数値です。条間に適応するトレッドのトラクタ型式に限る。
ディスク枚数は中央ユニット4枚、左右ユニット2枚になります。ディスク形状の()の数値は片側の角度調節範囲の数値です。作業能率の数値は作業速度5km/h時の値です。
※大豆用高速畝立て播種機が持つ特徴を最大限に発揮するために、装着できる播種機はアグリテクノサーチ製HUD-2のみとします。



安全に関するご注意

●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。●ご使用の前後には、十分に点検・整備をおこなってください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ...

KOBASHI
小橋工業株式会社

本社・工場
〒701-0292 岡山市南区中畦684

インターネットでも小橋工業(株)の情報がご覧になれます。 <http://www.kobashiindustries.com>

■北海道営業所 ☎(0166) 49-0070
■東北営業所 ☎(0197) 71-1160
■関東営業所 ☎(028) 687-1600
■岡山営業所 ☎(086) 250-1833
■九州営業所 ☎(096) 286-0202

📞 商品の詳しいご相談は、下記までご連絡ください。



2022年10月作成 ⑨

KOBASHI

大豆用高速畝立て機

高速畝立てディスク

HDR200

37PS～60PS



※播種機(アグリテクノサーチ製HUD-2)は別売りとなります。

大豆用高速畝立て播種機は、当社と農研機構とアグリテクノサーチ(株)との共同研究の成果です

天候に左右されず高速作業が可能

高速畝立てディスク

HDR200



※播種機のアグリテクノロジー製HUD-2は別売となります。

作業時間最大83%削減

時速1.5km/hで10aにかかる時間／

72分

時速5.5km/hで10aにかかる時間／

12分

※播種作業のみの比較

※ディスク式は事前の耕うんで十分な砕土が必要



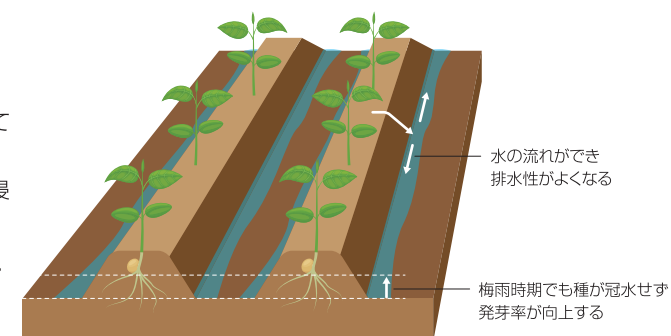
作業速度 4～6 km/hを実現。

従来の畝立て播種技術では作業速度が従来1～3km/hでしたが、4～6km/hを実現。作付面積拡大および単収増加が見込めます。

畝立てによる湿害対策

大豆播種において、湿害回避が大きな課題^{※1}となっていますが、畝を立てることにより、畝上部に播種される為播種後の湿害回避に繋がります。また、畝立てすることで圃場表面の排水性が良くなり、長時間種が水に浸かることを軽減し、梅雨時期の大豆発芽率向上に繋がります。

※1.大豆栽培では湿害による発芽不良と初期育成不良が、収穫時の単品品質に大きく影響します。大豆播種時期は6月が主流で都府県の梅雨時期と重なるので、湿害を受けやすい。



収量アップと規模拡大

土を反転する作用が強いディスク方式を採用し、水分の多い圃場でも土を練らずに素早く畝立て播種ができる為適期播種による収量アップに繋がります。また、播種作業が梅雨時期と重なっても、天候と圃場状態をにらんだ短時間作業が可能となり、規模拡大に貢献。

〈例〉



従来機での稼働日数／

9日



HDR200での稼働日数／

12日



※作業イメージ ©農研機構提供

